

宮城県立迫支援学校のホームページへようこそおいでくださいました。

迫支援学校は、宮城県北部の登米市迫町にある、知的障害の児童生徒が学ぶ特別支援学校です。

本校は、昭和54年に金成養護学校迫分教室として設置され、翌年に迫分校に昇格し、その後、平成2年4月に迫養護学校として開校しました。当初は小学部と中学部のみでしたが、平成6年4月には高等部を開設し、平成21年4月には校名を宮城県立迫支援学校と変更して、現在に至っています。

今年度は、小学部25名、中学部15名、高等部49名の生徒が在籍し、教職員70名とともに、伊豆沼、長沼をはじめとする豊かな自然に抱かれながら、毎日元気に学校生活を送っています。

本校の目指す児童生徒像は、「みんなと仲良く協力し合う児童生徒」「何事にも進んで取り組む児童生徒」「明るく元気でたくましい児童生徒」「自分の役割をしっかりと果たす児童生徒」の4つです。それぞれの児童生徒がそれぞれのやり方で、厳しい寒さの中を力強く羽ばたく白鳥のごとく、たくましく成長することができるよう、日々の教育活動に努力しています。保護者の皆様はじめ、地域・関係諸機関の皆様にも、なにとぞご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、本校の教育活動の詳細については、当ホームページにてご紹介いたしますので、ご高覧いただければ幸いです。

平成29年4月

宮城県立迫支援学校長 武田 元彦